

<卒業生来訪記・第1回>

～2024年9月某日

今日は卒業生の「ハルク」先輩が、ティープロを訪ねてくれました。



香取「久しぶりだね」

ハル「お久しぶりです。ティープロでは大変お世話になりました。」

香取「現役で大学に合格したそうだね。全部でどこに受かったの？」

ハル「早稲田大学・基幹理工学部
上智大学・情報理工学部
東京理科大学・工学部
に合格しました」

香取「素晴らしいね。君の出身高校は…」

ハル「宝仙学園順天堂大学系属理数インター中・高です。」

香取「特待合格だったよね？」

ハル「はい」

香取「授業料が6年間軽減された？」

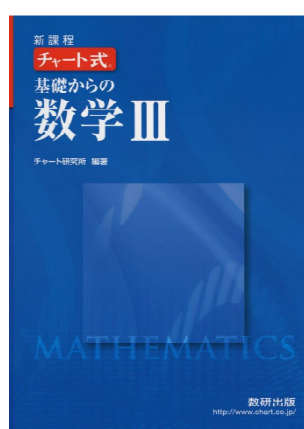
ハル「秘密です（笑）制度については発表されていますが」

香取「受験勉強に本格的に力を入れたのはどの時期からですか？睡眠時間やこだわったことはありますか？それからお薦めの参考書も教えて」

<以下ハルク先輩の回答>

僕が受験勉強に力を入れ始めたのは高1の冬からです。数学や物理の、理解できたら色々な問題が解けるようになる感覚が好きで、モチベーションを保つことができましたと思います。

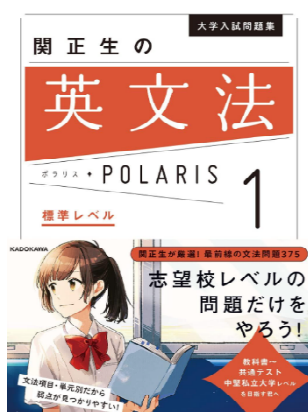
睡眠時間は、直前期でも6時間は取るようにしていました。また、家にいると怠けて勉強できないので、塾や学校の自習室に行くことを習慣化していました。参考書は以下のものを使用しました。



数学・青チャート（数研出版）



数学・1対1対応の演習（東京書籍）



英語・ポラリス（KADOKAWA）



英語・英文熟考（旺文社）

その他の科目では、以下のものを使用しました。

国語…Look@古文単語、体系漢文
化学…Do シリーズ 新演習化学

物理…名問の森、新物理演習

香取「受験に対する学校のフォローはどうでしたか？」

＜以下ハルク先輩の回答＞

理数インターの先生には、特に記述の添削で感謝しています。とてもたくさんお願いしたのですが先生方は嫌な顔ひとつせず、全て丁寧に私が納得するまで添削してくださいました。

学校からは面倒な宿題を出されたことはなく、志望校に迷った時も様々なことを調べて下さり、ご指導いただきました。

とても良い学校だったと思っています。

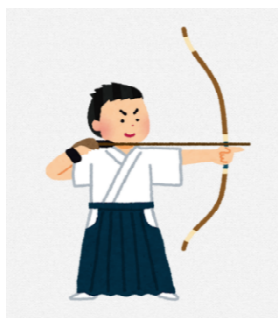


香取「それは良かった。どんな6年間だったの？」

＜以下ハルク先輩の回答＞

私の学年は高1の時以外、選抜クラスと一般クラスに別れていました。私はずっと選抜クラスにいたのですが、周りの人も優秀で、その人たちに刺激されて頑張ることができました。

部活は5年間弓道部で様々な大会に出たり、後輩たちと仲良くなったりできて、とても充実していました。



修学旅行も沢山の思い出があります。コロナ禍で先輩たちのように海外旅行に行けなかったのは残念でしたが、福岡、四国、神戸、大阪などを周りました。

民泊もしました。先生がいない中、地元の人たちと協力してご飯を作ったり、お風呂を沸かしたのが新しい経験で楽しかったです。

ちなみに、今の宝仙生は、中3でシンガポール。高2でアメリカに行くみたいです。

香取「早大で学ぶ上での、将来の夢は？」

ハルク「将来は情報系に進み、最先端の技術で多方面のジャンルに関われる人になりたいと考えています！」



香取「その他後輩たちにひと言」

<以下ハルク先輩の回答>

受験期は長いようで一瞬で終わってしまいます。

受験が終わってから、後で「あの時ああすればよかった」と思うところがたくさん出てきますが、それではもう遅いです。後悔のないように頑張ってください。

香取「ありがとう！20歳になったらお酒を飲みに行こう」

ハルク「宜しくおねがいします！」



使用参考書（写真・ハルク先輩提供）